

## 学習内容報告書フォーマット

学校名	東十条小学校
授業者	宇田川 牧子

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

海と生きる「与論の海に学ぶ」

#### 1-2. 学年

第6学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

海育科（国語科）

#### 1-4. 単元の概要

海育科では、海の環境を守る活動を知ることを通して、地球環境への関心を高め、かけがえのない地球に生きる一人として課題に気付くことができるようにした。そこで、交流校であり、児童にとっても身近な存在である与論島の取り組みに焦点を当て、地球環境保全の取り組みやその課題について理解できるようにした。

国語科では、海育科で学んだことをもとに、「地球環境を守るために自分たちにできること」を考え、提案書を書く活動を行う。提案書を書く活動を通して、自分たちの行動で地球環境を守ることができるかもしれないということに気付かせるようにする。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

メディアがSDGsというキーワードを取り上げることが増えた影響で、子供達が環境問題について考える機会が増えている。しかし、受け手として環境問題を考えることがあっても、自分達が環境問題に行動を起こす機会はほとんどない。限りある資源と、どう向き合っていくかを考えることは、これからの未来を創っていく児童にとっても考えなければならない問題である。そこで、環境問題を自分たちの問題として捉え、主体的に解決していこうとする態度を育てたい。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・永続的な海の利用と海洋汚染の保護について理解する。
- ・自己と海とのこれからの関わりについて、見通しをもって考える。

1-7. 単元の展開（全8時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○わたしたちの行動と自然環境がどうつながっているのだろう。【海育1/8】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の行動で、自然環境が変わることについて考えをもつ。</li> <li>・一見、海と関係のない身近な話題から考える。 (例) 青虫ときゃべつ</li> </ul> <p>農薬を使っていない見た目の悪いキャベツを食べてすくすく育った青虫と、スーパーで売られている見た目のきれいなキャベツを食べて死んだ青虫。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何が原因か。人間にとってよいことが他の生き物にとってはよいことなのか」考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な話題を提示し、考えさせる。</li> <li>・あおむしとキャベツの写真を掲示する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の時の海育科の学習を（海を守ること、SDG's）想起し、自分たちの行動を考える。</li> <li>・海と関係ない話題も、「地球環境を守る」という観点ではつながっていることに気付いている。（ワークシート）</li> </ul>
2 3 4	<p>○与論の海は、どうしてきれいなのだろう。【海育2・3・4/8】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与論の海は、どうしてきれいなのか考える。</li> <li>・与論の海を守っている活動をインターネットで調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を見せたり、与論に行ったことのある人の体験を聞いたりすることで学習のイメージをつかませる。</li> <li>・できるだけ根拠をもって予想を立てるように声掛けする。</li> <li>・インターネットで調べる注意点を説明する。</li> <li>・与論の海を守る活動についてまとめる。（ワークシート）</li> </ul>
5	<p>○与論の海を清掃している小学校の活動を知る。(Zoom) 【海育5/8】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな海（ふるさと）を守るために、活動している人の思いをインタビューする。</li> <li>・インタビューして分かったことをワークシートにまとめ、自分の考えをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にインタビューしたい内容をまとめさせておく。</li> <li>・インタビューする際の注意点を説明する。</li> <li>・分かったことだけでなく、インタビューを通して考えたことや新たな疑問があれば記述するように指導する。</li> <li>・与論島の人の活動内容や思いを知る。（ワークシート）</li> </ul> <p>協力：与論町立茶花小学校6年生 お茶の水女子大 SEC</p>
6	<p>○与論の海を守る活動を知る。(Zoom) 【海育6/8】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな海（ふるさと）を守るために、活動している人の思いをインタビューする。</li> <li>・インタビューして分かったことをワークシートにまとめ、自分の考えをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にインタビューしたい内容をまとめさせておく。</li> <li>・インタビューする際の注意点を説明する。</li> <li>・与論島の人の活動内容や思いを知る。（ワークシート）</li> </ul> <p>協力：与論島拾い箱プロジェクト池田龍介さん お茶の水女子大 SEC</p>

課外	<p>○代表児童が与論島を訪問し、清掃活動などを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・珊瑚礁の講義、観察会</li> <li>・海岸清掃活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表児童に調べてきて欲しいことや見てきて欲しいことをまとめておく。</li> <li>・代表児童は、訪問して分かったことをスライドにしてまとめる。</li> </ul> <p>協力：与論町海洋センター</p>
7 8	<p>○海や環境を守るために、自分達にできる取り組みを考える。【海育7・8/8】【国語8】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与論の取り組みのように、工夫して楽しく取り組めることはないかアイデアを出し合う。</li> <li>・提案書を作成し、プレゼンテーションをする。</li> <li>・提案の中で、実現可能になったものは、みんな実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューしたことや、代表児童が与論島を訪問したことなどをもとに、考えさせる。</li> <li>・地球環境を守るためのアイデアを考えている。(ワークシート、観察)</li> <li>・国語科「私たちにできること」と関連させる。</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

・与論の海を守る活動内容や活動をしている方の思いを知る。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動/反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○与論の海を守る活動をしている方にオンラインでインタビューをする。</p> <p>(1) あいさつと東十条小学校の自己紹介</p> <p>(2) 拾い箱についてのインタビュー</p> <p>・どのような思いで、拾い箱を始めようと思ったのですか。</p> <p>・拾い箱を始めようとしたとき、まわりの人の反応がどうでしたか。</p> <p>(3) 池田さんの思いについてのインタビュー</p> <p>・初めて活動したときはどんなことを思っていましたか。</p> <p>・海のゴミにはどんなものが多いですか。</p> <p>(4) お礼のあいさつ</p> <p>(5) お茶の水女子大 里先生のお話を聞く</p> <p>(6) 振り返りを書く。</p>	<p>・全員が挙げた質問内容を整理・分類しまとめておく。</p> <p>・代表児童は事前にインタビューの練習をしておく。</p> <p>・メモをとり、分かったことだけでなく、考えたことも記述しておくように指導する。</p> <p>・振り返りには、「分かったこと」「考えたこと、感じたこと」「もっと知りたいこと」に項目の欄を分けることで、整理して書けるようにする。</p> <p><b>評</b> 海を守る活動についての話をよく聞き、自分の考えをもつことができたか。（ワークシート・観察）</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・下調べをした上でのインタビューだったため、基礎的知識をもった上でより、深い質問内容につながった。
- ・インターネットで分かることも、実際に活動に携わっている人の言葉で話を聞くことで、児童にとって実感の伴った学びとなった。
- ・同学年の児童との交流することで、親近感をもって学びに向かうことができ、主体的な姿勢にもつながった。

### 4. 今後の課題

- ・オンラインインタビューは有意義であったが、一方で時間の都合上、質問する児童は一部の児童に限られた。今後、与論島の児童に一人一台パソコンが導入されれば、少人数対少人数の児童同士の交流ができれば、全員が直接関わることはできるのではないかな。
- ・新しい単元開発ではなく、毎年同じ内容をブラッシュアップして行うとより充実した学ぶになるのではないかな。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。